

夏休み中企業見学希望まとまる



職業安定協会から依頼された表題の調査の結果がまとまりました。今回は早く出せ修行に参加する生徒もあり、それも入れるとほぼ就職希望者のほとんどが、企業見学に行く形になっていると思います。ただし一部の企業に固まっていたり、比較的良い企業と思われるところが誰も希望が出ず穴が空いていたり、まだ調整の余地があるような気がします。

今後もう少し検討して、別の企業を見たいという希望のある生徒は担任の先生に配布してある「企業見学申込書」に記入して、早めに進路室へ提出してください。夏休みに入ってからでもかまいませんが、出来たら休み前に提出すれば皆さんのところにその連絡もしやすくなります。

企業見学をするところがとりあえず決まったからといって、就職が決まったことにはなりません。数名しか採らない企業に各高校から多くの生徒が集中することになれば競争は自ずから厳しくなります。それぞれが希望するところに入れるように、どうしたらよいかを考えて欲しいものです。**学科試験のあるところは少しでも学科試験で点数がとれるように、夏休み中就職試験問題集等で基礎的学力を付けるとか、SPI試験があるところは模試を受けるとか、面接対策を今から考える等が必要**かもしれません。

今年の試験はいつもと大きく異なり極めて厳しいことを肝にめいじて、本気で対策を考え準備をしておかないと、少なからぬ者が就職試験であふれ、卒業時まで就職先が見つからない可能性があります。その一人に入らないよう企業見学を契機に、真剣に対策を考えましょう。

日本企業はなぜ総崩れになったのか？



昨年前期、約 2 兆 2700 億円の史上最高の連結営業利益を上げていたトヨタが、今年の 3 月期の営業損益は一転 4610 億の赤字へと転落しました。電機メーカー各社も同じような状況に陥っています。わずか半年あまりの間に何故にこの様な状況に陥ってしまったのでしょうか。

昨年 9 月中旬アメリカのリーマンブラザーズが破綻したことにより、世界的な経済不況に陥ってしまったのが一番の原因です。当初はアメリカやヨーロッパがもろにその影響を受け厳しい状況にありましたが、当初はまだ日本は大丈夫と比較的冷静に受けとめていたのに、その後一気に日本も厳しい状況となってしまいました。現在ではむしろ日本の方が厳しとまで言われています。

その原因の一番大きなものは「世界の経済の急速な失速」にあります。それにプラスして「急激な円高の進行」により、特にアメリカヨーロッパ市場に強く依存している日本の弱さが一気に出てしまったためと言えるでしょう。アメリカやヨーロッパで売れなければもろに影響が出てきます。しかも急激な円高により今まで 100 円で売っていた物が 90 円しか入ってこないのでは利益は当然下がりダブルパンチとなります。バブル時に日本のお金が一気になくなったのも急激な円高が原因でした。今後は欧米市場に頼らない、真のグローバル戦略を考えていかないと日本の社会はまた同じことを繰り返すでしょう。